米国と欧州の制裁とその射程

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

単独制裁に関するシンガポールの原則

公式の立場は明確です。シンガポール税関は、シンガポールは他国の単独制裁を執行しないと述べたうえで、それでもシンガポールの当事者がその影響を受ける可能性があると付け加えています。[1]同じページは、日本、欧州連合、英国および米国のリストをトレーダーに案内しており、その中には産業安全保障局（Bureau of Industry and Security）のエンティティ・リストや、外国資産管理局（Office of Foreign Assets Control）の特別指定国民（Specially Designated Nationals）リストも含まれています。この案内は、商業上の現実を認めるものです。これらのリストを無視するシンガポールの会社は、シンガポールのいかなる法律にも違反していなくても、取引銀行、保険会社そして顧客を失うおそれがあります。

この原則には長い歴史があります。2012年6月、米国がイラン産原油の購入に対する制裁の例外をどの国に認めるかを決めようとしていた際、外務省は、シンガポールは「国連安全保障理事会の制裁のみを執行する」と確認しました。外務省はさらに、シンガポールの企業と金融機関は単独制裁の影響を考慮に入れており、シンガポール金融管理局（Monetary Authority

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

of Singapore、MAS）が銀行に対してイラン関連取引のデューデリジェンスを強化するよう求めたと付け加えました。[2]この回答は、その後も変わっていません。米国が2018年8月6日と11月4日の2段階でイラン制裁を再発動した際、シンガポール自体は何も変更していなかったにもかかわらず、シンガポールの弁護士は、シンガポールの会社がその域外適用の打撃を受ける可能性があると警告しました。[3]

米国の一次制裁と二次制裁

米国の制裁は2つの方法で作用します。一次制裁は、米国人と、米国との接点（nexus）がある取引を拘束します。これには、米国の銀行を通じて決済されるドル建ての支払が含まれます。第G部で検討する石油、金属および農産物の取引は、圧倒的にドル建てで価格設定され決済されているため、一次制裁はその決済を通じてシンガポールのコモディティ事業の大部分に及びます。二次制裁はさらに踏み込みます。米国政府が指定した対象と取引する米国人以外の者に対し、米国人やドルが一切関与していない場合であっても、指定や米国金融システムへのアクセスの喪失をもって威嚇するものです。

ロシアに関するプログラムには、2023年12月に強力な二次的手段が加わりました。2023年12月22日の大統領令（Executive Order）14114は、ロシアの軍需産業基盤に関わる重要な取引を助長し、またはサービスを提供する外国金融機関に対する制裁を認めました。ジャネット・イエレン財務長官は、そのような助長行為は「米国の制裁の対象となるおそれがある」と警告しました。[4]シンガポールの銀行にとって、この大統領令は判断の前提を変えました。シンガポールのあらゆる通達を遵守している銀行であっても、第三国を経由したロシアの防衛関連供給業者向けの支払を処理すれば、ドルのコルレス口座を失うおそれがあるのです。賢明な対応は、シンガポール法上の位置付けにかかわらず、米国の指定を事業上の制約として扱うことでした。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

シンガポールに関わる指定

米国の指定は、シンガポールを回避ネットワークにおける供給源または経由地として繰り返し特定してきました。17の法域にわたる275の個人および事業体に制裁を科した2024年10月30日のパッケージにおいて、財務省は、香港および深圳の会社を指定しました。この会社は、指定されたロシアのマイクロエレクトロニクス製造業者のために、シンガポール原産の半導体製造装置の調達に携わっていました。財務省はまた、同様の最終需要者のためにシンガポール原産および台湾原産の半導体製造機械を調達した中国の会社も指定しました。[5]こうした事案は、シンガポール自体を非難するものではありません。シンガポールで合法的に販売された物品が他所の仲介者を通じて禁止された使用者に届きうることを示すものであり、これによりシンガポールの輸出者には最終用途に関するデューデリジェンスの負担が課されます。

第2の標的は石油取引でした。2025年1月10日、財務省はGazprom NeftとSurgutneftegasおよびその子会社、183隻の船舶、そしてロシア産石油の9つのトレーダーを指定しました。これらのトレーダーの大半はアラブ首長国連邦と香港を拠点としていました。財務省はまた、2025年2月27日以降、ロシアにいる者に対して米国の石油関連サービスを提供することを禁止しました。[6]指定されたトレーダーの所在地は示唆的です。2022年以降、ロシア産石油の取引は、当局が西側の制裁を適用しない法域へと移っており、とりわけドバイがジュネーブの失ったものを手にしています。シンガポールの大手石油トレーダーは西側の銀行と保険会社に依存しており、そのため、こうした取引から距離を置く強い理由があります。

欧州と英国の措置

欧州連合と英国は、米国のような形で二次的な管轄権を主張してはいません。それでも、その措置は3つの経路でシンガポールに及びます。親会社の国籍を通じて、欧州および英国の銀行、保険会社およびトレーダーのシ

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

ンガポール支店や子会社を拘束します。欧州人および英国人が、規則の対象となる取引にサービスを提供することを禁止しています。これには、上限価格を超えて販売されるロシア産石油の海上輸送、保険および金融が含まれます。2023年12月の第12次パッケージに基づき、欧州の輸出者は2024年3月以降、機微な物品を第三国に販売する契約に「ロシアへの再輸出禁止」条項を盛り込むことを義務付けられています。[7]したがって、欧州の電子部品を購入するシンガポールの販売業者は、欧州の禁止を自らの取引に取り込む契約に署名することになります。

欧州のパッケージは、第三国の事業体にも直接及んでいます。ジュネーブ巻は第20次パッケージを記録しています。スイス連邦参事会は2026年8月19日にこれを実施しましたが、このパッケージには、キルギスへの機微な物品の輸出に対する欧州の迂回防止手段の初の発動と、ロシアの暗号資産プラットフォームの利用禁止が含まれていました。[8]シンガポールにとって、これらのパッケージの教訓は、欧州連合が第三国を経由する貿易ルートの監視を強めているということです。欧州の銀行と市場へのアクセスを維持したいハブは、自らがそうしたルートの1つになっていないことを示さなければなりません。

契約と紛争

制裁は、貿易に関する私法のあり方にも影響を与えています。この都市のコモディティ事業で主流となっている英国法またはシンガポール法を準拠法とする契約には、履行によって制裁にさらされる場合に当事者が履行を停止または終了できるとする制裁条項が含まれることが増えています。そのような条項がない場合、当事者は不可抗力条項やフラストレーション（契約目的の達成不能）の法理に頼ることになります。英国最高裁判所は2024年の*RTI Ltd v MUR Shipping BV*事件において、米国の制裁を理由に不可抗力を援用する当事者は、契約で定められたドルに代えてユーロでの支払を受け入れる義務を負わないと判示しました。[9]シンガポールの裁判所は

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

この種の英国の判決を極めて説得力の高いものとして扱うため、この判決は、第F部第II章および第III章で検討する裁判所と仲裁廷に持ち込まれる多くの制裁関連紛争の指針となる可能性が高いでしょう。

注

1. Singapore Customs, “Sanctioned Lists and Red Flags”, customs.gov.sg（2026年11月最終閲覧）：シンガポールは他国の単独制裁を執行しないが、“parties in Singapore may be affected by unilateral sanctions imposed by other countries”；事業者はシンガポールの国内法とUNSC決議を遵守しなければならない。 ↩
2. Ministry of Foreign Affairs, “MFA Spokesman’s comments in response to media queries on the latest US press statement of 11 June 2012”, 12 June 2012, mfa.gov.sg：National Defense Authorization Act for Fiscal Year 2012のSection 1245(d)(1)に基づく例外に関する米国との建設的な協議；“Singapore enforces only UN Security Council sanctions”；MASは金融機関に“monitor more closely Iran-related business transactions”よう求めた；過去2年間、イランはシンガポールの原油輸入の約1%を占めていた。 ↩
3. Legal 500 (Mondaq), “What should Singapore businesses look out for when the US re-introduces sanctions on Iran”, 14 August 2018：“In general, Singapore does not enforce unilateral sanctions adopted by other countries, such as the US”；2018年8月6日と11月4日の2段階；“Singapore companies could be hit by the extra-territorial application of the US sanctions”；シンガポールで合法であっても、銀行はイラン関連の貿易金融を拒否する可能性がある。 ↩
4. US Department of the Treasury, “Statement from Secretary Yellen on President Biden’s Executive Order Taking Additional Steps With Respect to Russia’s Harmful Activities”, press release JY2011, 22 December 2023：この大統領令は、“facilitating significant transactions or providing services

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

involving Russia's military-industrial base"について"authorizes the imposition of U.S. sanctions on foreign financial institutions"；OFAC, Recent Actions, 22 December 2023、外国金融機関向けのコンプライアンス勧告を含む。 ↩

5. US Department of the Treasury, press release JY2700, 30 October 2024：財務省は"across 17 jurisdictions"のネットワークにおいて"sanctioned 275 individuals and entities"；Ablefast Logistics Shenzhen Limitedは指定されたロシアのマイクロエレクトロニクス製造業者のために"worked on procuring Singapore-origin semiconductor manufacturing equipment"；Nanchang Kudos Import and Export Company Limitedは"Singapore- and Taiwan-origin semiconductor manufacturing machines"の調達に携わった。 ↩

6. US Department of the Treasury, press release JY2777, 10 January 2025：Gazprom NeftおよびSurgutneftegasとその子会社、183隻の船舶、ロシア産石油の9つのトレーダー（Annex 3、大半がUAEおよび香港を拠点とする）の指定；2025年2月27日午前0時1分（米国東部標準時）以降の"the provision of U.S. petroleum services to persons located in the Russian Federation"の禁止。 ↩

7. Council Regulation (EU) 2023/2878 of 18 December 2023, Art. 1(28)、Council Regulation (EU) No 833/2014にArticle 12gを挿入：Annexes XI、XXおよびXXXVの物品、Annex XLの共通高優先品目、ならびにRegulation (EU) No 258/2012のAnnex Iに掲げる銃器および弾薬を第三国に販売、供給、移転または輸出する際、輸出者は契約上ロシアへの再輸出を禁止しなければならない；2024年3月20日から適用、2023年12月19日より前に締結された契約については2024年12月20日までの経過期間あり。 ↩

8. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie H, chapitre III、第20次パッケージについて。Secrétariat d'État à l'économie, "Ukraine : le Conseil

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

fédéral met en œuvre le 20e paquet de sanctions conformément à la pratique établie", seco.admin.ch, 19 August 2026を引用。 ↩

9. Ressos, *Genève, place financière internationale*, partie H, chapitre III、*RTI Ltd v MUR Shipping BV* [2024] UKSC 18, 15 May 2024について：不可抗力条項の合理的努力に関する但し書は、影響を受けた当事者に対し、定められたドルに代わるユーロでの支払という契約外の履行を受け入れることを義務付けるものではない。 ↩

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com